

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニッポンコウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F111310102129
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	埼玉県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ・キャリア工房／インターンシップ
	学部・研究科等名	基幹工学部、先進工学部、建築学部
	担当教職員名・役職	姜 雅人：共通教育学群 教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	38
	受入企業等数	23
	受入企業等名	ポラス(株)、(株)長大、(株)日経映像、三和工機(株)、大森クローム工業(株)、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)、(株)サン精密化工研究所
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ
9.中小企業でのインターンシップ		
11.その他		
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	短期インターンシップ(実働5日間～10日間)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	事前授業7講座を受講し実働5日以上の就業体験をした上で、報告書を提出し報告会に出席することで単位付与。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
		7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	現在3学部6学科体制。各学科の専門科目として位置付けている。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている

要素③		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	7回の事前授業を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ終了後に各学科ごとに報告会、担当教員による面談を実施している。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	学生から提出された報告書、受入先企業から提出された評価表、及び担当教員による面談結果により教育的効果を測定している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習後の学習に対する取り組み姿勢や考え方などの変化を調査する仕組みを築くべきだと考える。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	実働5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	実働5日以上の就業体験にのみ単位を付与している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容		

	6-3.上記回答内容に関する詳細	一部企業との取り決めでは、事前に内容の検討を実施しているケースもある。全受入企業に評価表を依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問 い 合 わ せ 先	大学等名	日本工業大学
	担当部署名	キャリアデザインルーム
	担当者役職名	共通教育学群教授
	担当者氏名	姜 雅人
	電話番号	0480-33-7551
	メールアドレス	career@nit.ac.jp